

宮城県白石高等学校七ヶ宿校 No. 112

平成31年3月15日

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

### 平成 30 年学校評価より 学校評価の分析,前回に続いて後半部分となります。

2. 社会人として通用する基礎学力の育成

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш Ш

Ш

ш

ш ш

ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

ш

ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш

Ш Ш

Ш

Ш

ш

Ш

Ш

ш

ш

Ш

○少人数指導体制や習熟度別授業の実施,個に応じた指導による基礎学力の向上

質問:【生 徒】「英・数・国で実施している習熟度別学習は内容を理解するのに役立っている」

質問:【保護者】*「基礎基本を徹底して指導している」* 

質問:【職 員】「国数英で実施している習熟度別学習は生徒の学力向上に役立っている」

肯定的評価 **生徒**74% **保護者**92% **職員**100%

「対話的学び」の手法を活用しながら、それに伴う観点別評価の研究を進めている。 職員は授業の 進度に注意をおきながら一人ひとりに発問し,答えを導き一つ一つ丁寧に「できた」という自信を持 たせて授業を展開している。授業には、そっとそばにいて学習を支援してくれる心の支援員が寄り添 い,知識の伝達にならないよう学習の面白さを求め実践している。資料にはないが,授業評価では全 学年において、「授業がわかる」「楽しい」と答える生徒の割合が非常に高く出ています。今までの学 校での不登校経験から一転して,一人一人の目標の中で「できた」「わかった」という達成感・充実 感が不登校を克服する原動力につながっていると考える。

質問:【生 徒】「授業以外でも、わからなかったことなどを指導してもらっている」

肯定的評価 51%

質問:【生 徒】「家庭学習をしている」

肯定的評価 43%

質問:【保護者】「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている」

肯定的評価 81%

生徒の学習態度や意欲について評価は低く出ているが、保護者からは高い評価をいただいてい る。これまでの学校生活において学習意欲が乏しく、一人ひとりが持っている力を必ずしも十分に発 揮し切れなかった生徒を積極的に受け入れ,きめ細かな学習指導を行う高校として,さらに今後は 「社会人として通用する基礎学力の獲得」に向けて,より一層学習への意欲を向上さられるよう指導 しようと考える。

今後は放課後学習として,学習支援員の活用により中上位層の生徒に対して,漢字検定などの資 格取得、実務的なフォークリフトや小型建機についての資格取得についても検討したい。

自らの能力や可能性を伸ばすことにチャレンジできる意欲と機会の設定を考える。

最後に、「何もない七校で、仲間と出会って、自分に何ができるか。できたか。」を生徒に問いかけ、 ■ 少しでも自信を持って卒業し、社会に送り出せるよう職員一丸となり指導したいと考える。

#### 2月19日 予餞会で3年生を送る





# 3月1日 卒業式









いろいろありましたが、平成30年度卒業生19人が無事卒業していきました。何といっても忘れられないのは6月の県定通野球大会の決勝戦。最終回で6点差、2アウトまで行きながらもまさかの逆転負け。見ている私たちよりも、その場で戦っている選手一人ひとりがどれだけ悔しかったか

を思うと熱く込み上げるものがありました。

9月からの就職試験。準備はこれでいいのかと思いながらも、合格通知が届きほっとしたものでした。おかげさまで就職を希望した生徒の全てが合格を頂きました。

卒業式での2年生高橋美咲さんからの送辞。そして3年藤井麻衣さんの答辞。いずれも七ヶ宿校の学校生活が感じ取れる内容で、本校の先生方からも好評でした。

4月から本当の社会人となる卒業生。私たちの出来ることはここまで。これからは自分の力で問題にぶつかり、解決し、前に向かっていってほしいと思います。疲れたときにはいつでも学校に来てください。

## 3月の行事予定

1日(金)卒業式

4日~8日入試業務のため自宅学習日

12日~13日 午前授業

14 日 後期選抜合格発表 15:00

15日 午前授業 2次募集受付

18日~22日 入試業務のため自宅学習日

25日(月) 大掃除・修業式

26日(火) 新入生予備登校

29日(金) 離任式

## 副校長より

4月に赴任しあっという間の1年でした。 校舎内には取っても取っても湧いて出てくるカメムシの大群(もうじきその季節に突入しますが)。外では猿の軍団が校舎屋根を走り回り、畑の野菜を勝手に持ち出し知恵比べが始まった。車や電車が走り回り、時間を気にしながら生活する町中とは、いい意味で違った空気を感じた。

生徒たちは白石駅から七ヶ宿のバスに乗り込み、トンネルを抜けてここまでやってくる。 学校では時間をかけて生徒と話し合い、お互いを理解し合って今日に至る。

4月からも同じようなことが繰り返され、 1年後には生徒を社会へ送り出す。当たり前 のことではあるが、そこに学校としての責任 を感じ、笑顔で生徒を迎えたい。